

令和4年3月

I V Y大分医療総合専門学校
校長 河野 明彦

学校自己評価結果の公表について (総括)

◎ 本校における自己評価の公表趣旨について

学校教育法及び同法施行規則の改正により、専修学校に於いても自己評価が義務づけられました。

同法の主旨に基づき、本校の令和3年度の自己評価の結果を公表することで、本校における教育活動の状況を広くご理解いただくとともに、より望ましい学校の在り方について、多くの方々から有意義なご意見等をいただきたいと考えています。

令和3年度自己点検・自己評価の結果について

1. 教育理念・目標

新型コロナの感染で社会生活に変化が起こっていますが、本校は開校以来「社会で必要とされる最高の専門的知識・技術を身に付けるため、専門分野の資格を修得させ、社会人としてのマナーを身に付け、希望にかなった就職を実現する」ことを目標とし、「すべては学生のために」の理念に基づき、教育活動を意欲的に取り組んでいます。

目標については、「不易と流行」という言葉を常に意識し、揺るがぬ信念のもと、教育課程編成委員会等の意見を入れつつ、学校内部で検討を適宜行い、時代や社会のニーズに対し積極的に応えるべく独自の取り組みを行っており、地域や企業の評価も良好なものとなっています。

また入学時に於いて、学生便覧の丁寧な解説及び説明を通じ、学生へ教育理念や教育目標を周知できるようにしており、今後も積極的に学校全体の目標達成に向け取り組んで参ります。

2. 学校運営

伝統の中で培ってきた効率的な学校組織を基礎に、規則や規定等の整備に取り組み効果的な学校運営を展開しています。また、教職員の共通理解を図ると共に新規職員の採用に取り組み、新しい技術の積極的な導入を推進すると共に、学内での研修開催や学外での研修参加、そして本校独自で講演会を開催するなど、職員のスキルアップ及び人材育成に意欲的に取り組んでいます。なお、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を最小限に抑えるため、安心して学習できる為の感染防止対策を積極的に行いました。

さらに、パンフレットの刷新及び学校ホームページやSNSの活用にも取り組み、積極的な情報発信を通じて学生や保護者、地域の方々に対し一層理解を深めていただいています。なおサービスや待遇に関する規定も「働き方改革」を踏まえ、適宜整備に努め適正で効率的な学校運営に尽力しています。

3. 教育活動

資格取得及び就職に必要となるカリキュラムを体系的に編成し、それらを反映したシラバスを作成し学習時間の配分などを考慮しています。同時に職業教育に対する大学や企業等の外部関係者との連携を深めることで、関連分野における実践的な授業を展開しています。また、教師自身及び学生によるアンケート等の授業評価を通じ、教員が授業分析を行い一層の能力向上に努めています。なお、業界団体との授業協力が可能となったことで、様々な助言を受けてAI・ゲームや歯科技工などの新しい学科を設置し、既存学科においてもカリキュラムに新しい科目が導入されるようになりました。

さらに各種資格取得については、各学科の特色を生かし、基礎学力の定着と応用力を踏まえた授業の展開、そして試験内容の分析及び対策授業を組合せ、理解しやすいよう工夫し、高い合格率の達成に向け取り組みを行い成果をあげています。

新型コロナ対応として、リモート授業の積極的活用にも取り組み、新しい授業方法の効率的確立を推進していきます。

4. 学修成果

就職専門担当職員の配置により、企業と緻密な関係が構築されて就職状況については例年通り良好な結果となっています。また、特別講演会の開催や多様な面接指導及び社会人としてのマナー指導の授業は、卒業する学生を側面から支援することとなり、就職した学生の定着率の向上にも貢献しています。就職先の企業を対象に、卒業生の評価及び学校に対する要望等の調査を実施すると共に、企業訪問時に人事担当者に聞き取りを行い、その結果は迅速に授業や就職指導に反映させるよう努力しています。

重点を置いている資格取得については、社会のニーズや学生の興味に応じた、新たな資格試験にも挑戦させ、効果的な試験対策により、全国平均を大きく上回る高い合格率を維持しています。

5. 学生支援

本校は体験入学やオープンキャンパスを積極的に開催し、入学前の進路相談を行っています。入学後も様々な悩みを抱えた学生を対象に、スクールカウンセラーと学級担任が連携を密にすることで、早期対応が可能な体制ができあがっています。

また、健康な体で授業を受ける事が基本と考え、健康診断を新学期に実施し、近隣の医療機関と連携し、同時に保護者との連絡を密に行い、学生の健康管理を配慮した体制をつくり、精神的にも肉体的にも勉学に打ち込める環境作りを行っています。

なお、経済的支援については、日本学生支援機構等の奨学金制度の活用を推奨し、

同時に本校独自の学費支援制度を設けています。

保護者との連携が学校運営の要であると考え、保護者による後援会組織を設置し、役員会や総会等で意見をいただき、その意見を教育活動に生かすよう努めると共に、個別には学級担任から成績報告等の発送や、必要に応じた学生の状況報告等で、保護者と緊密に連絡を取りながら個別指導を行っています。

尚、本校では新型コロナの影響は少ない状況でしたが、一部の学生にはネット環境整備の支援を実施し、授業に支障がないように取り組みました。

6. 教育環境

本校の教室・実習室・大講義室及びパソコン・プロジェクタ・スクリーン等の教育設備については、必要かつ十分に整備されています。また通常の機器に加え、新たにゲームやA I へ対応するため高性能パソコンの導入とネット回線を整備し、e スポーツへの参加が可能となるなど改善を着々と進めています。

これまでハード面の改修については、年次計画で取り組んできており、本年度は課題となっていた新校舎南面の壁を張り替えて、地震に対処した安全面の確保に努めました。現況に於いて学習環境としては恵まれた状況にあると考えています。今後も必要に応じ設備の充実や建物の改修を行っていく予定です。

7. 学生の受入れ募集

学生の募集に関しては、体験入学やオープンキャンパスを積極的に開催し、全体説明や生徒への個別面談を通じて、各設置学科の特色及び学習内容と就職先状況を丁寧に説明し、学生の進路希望とのミスマッチを極力少なくするよう心掛けています。

同時に、パンフレットやホームページに、就職先の実績や資格取得者の表彰風景をできるだけ写真入りで掲載し、事実に基づき広報活動を行うように努めています。

入学選考においては、本人の志望動機や学科に対する理解度、学習意欲等を適正・公平に判定し選考を行っており、選考委員会で厳正に最終合否が決定されています。

学納金については、保護者の負担軽減を念頭に、地域特性や他校の状況を踏まえて決定しており、適切な状況であると考えています。

8. 財務

財務状況に関しては、これまでも財務基盤の安定化に努め、資金繰りを安定化させるよう取り組んでおり、予算・決算は適正に執行されています。最新版の財務システムの導入により、今後も経費の無駄を極力省き、学習環境の充実を一層推し進めていきます。

9. 法令等の遵守

専修学校設置基準等に基づき、施設設備の整備に努め適切な運営を行っています。また、個人情報管理委員会を設置し、その保護管理に万全を期し、教職員へもその趣旨を理解するよう徹底しています。学校自己評価を行い、その結果を公表しており、

外部からの意見も聴取できるようにしています。

10. 社会貢献等

学校の特性を生かし、高等学校への出前授業や講習会を行い、高校生が専門的知識を習得できるよう、高等学校側との協力体制を構築してきました。

学生には社会貢献の意義を踏まえ、地域の清掃活動や別大マラソンのボランティア活動に積極的に参加するよう指導し、達成感を体験できるよう取組ませています。

令和3年度は、新型コロナの感染防止を徹底し、昨年中止した本校独自で行ってきた公開特別講演会を開催しました。対象は本校の学生のみとなりましたが、特別講師の情熱的で感動的な講演内容に感銘を受け、学生は今後の人生に良い影響を与えられました。今後感染が治まれば、高等学校の生徒や教師、民間企業や地域の方々へも幅広く広報活動を行い、講演会への参加を呼びかけ、参加者の人間力向上に貢献できるよう取組めます。

以上、本校における自己評価結果について総括をしてまいりましたが、自己評価の詳細につきましては、PDFにて公表していますのでご覧戴ければ幸いです。